

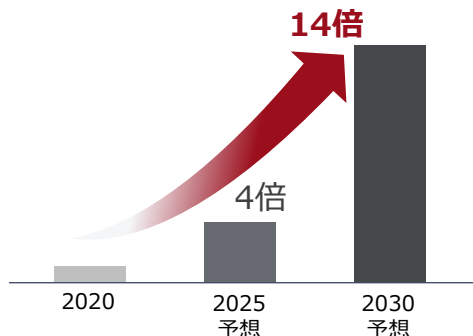
JTOWER

**インフラシェアリングを活用した
5Gの推進施策**

**Infra-Sharing
Services
from Japan
Lead the World**

インフラシェアリングが目指す役割

トラフィックの増加



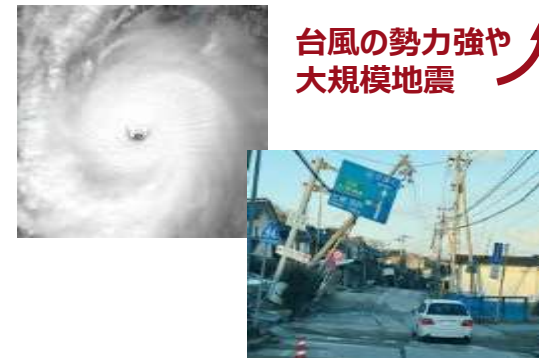
出所: Beyond5G推進 Consortium 白書分科会: Beyond5Gホワイトペーパー

5G/6Gで更に高周波数帯域を活用



低周波数帯
高周波数帯
⇒ 基地局数の増加

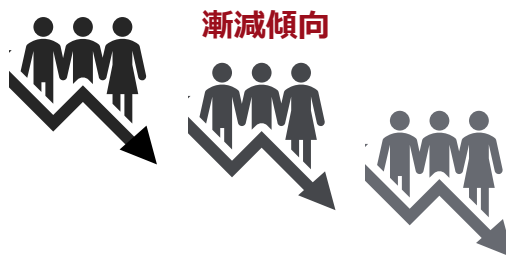
自然災害の増加



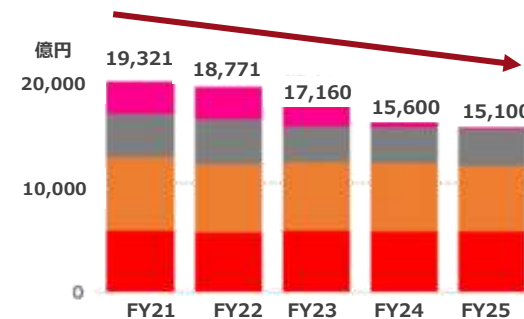
エネルギー消費増/価格の高騰



人口減少



設備投資の抑制傾向



●NTTドコモ ●KDDI(au) ●ソフトバンク ●楽天モバイル
出所: MCA 携帯電話基地局市場及び周辺部材市場の現状と将来予測

5G整備の推進

通信インフラの強靱化

通信ネットワークの
全体コストの低減

インフラシェアリングは有効な手法の1つ

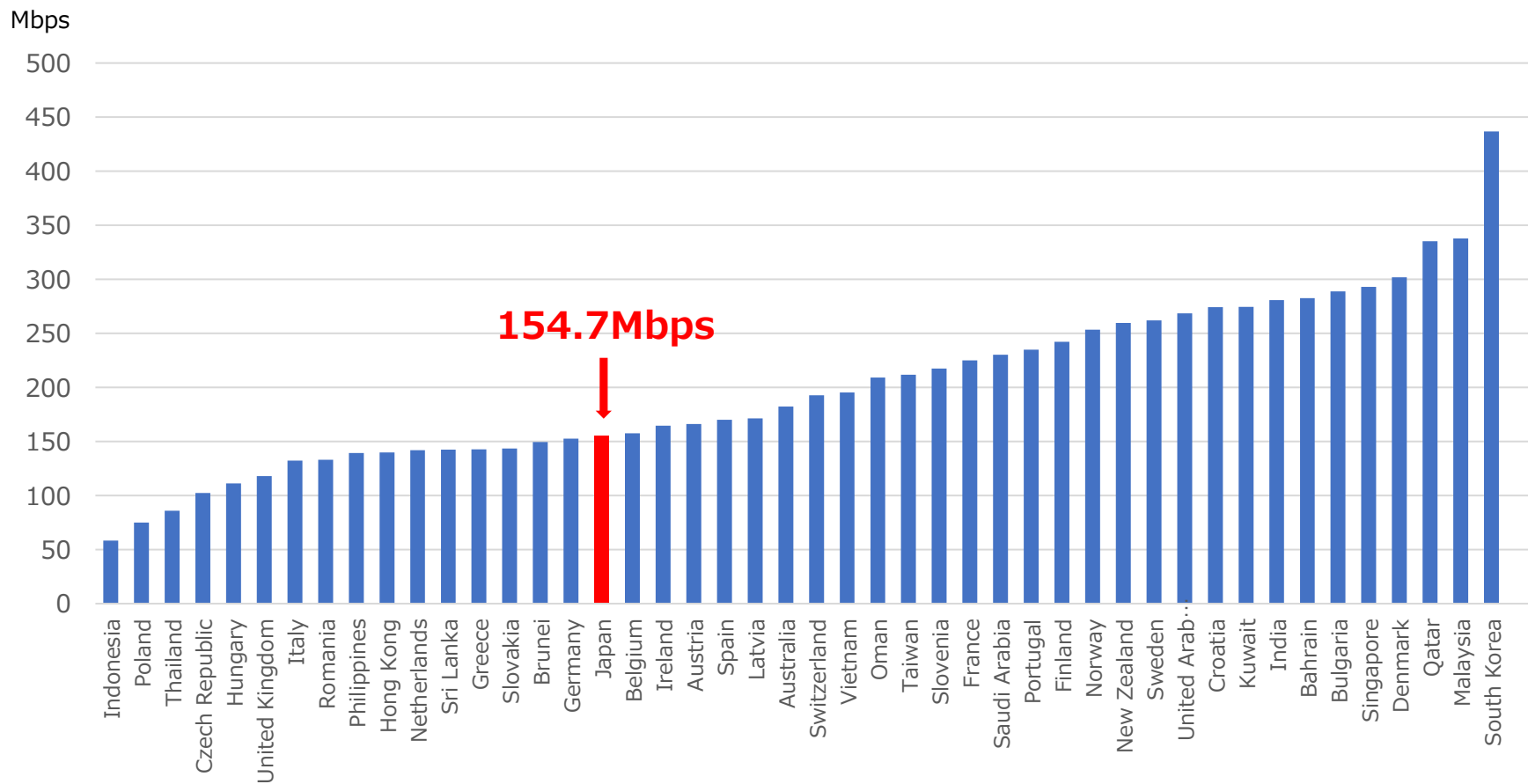
5Gインフラ整備の必要性と課題

- 5G/Beyond5G は、産業・社会のDX化から、生成AIを支える基盤ネットワークとして期待、**世界最先端のインフラ整備を目指した政策が必要**
- 5G整備では周波数の低いローバンド・ミッドバンドを5Gに転用、**Sub6、28GHz帯の整備については発展途上**
- **通信トラフィックが多い屋内では、Sub6等での5G整備は進んでおらず、また局所的な整備に留まるケースも多い**

5G通信速度の海外比較

- 5Gの通信速度面では、**諸外国と比較して劣位**している状況

OpenSignal※の調査：2023年10~12月の5Gダウンロードスピード 国別比較



※グローバルに通信会社のパフォーマンスを収集・分析するリサーチ会社(英国)

5G整備の推進施策

● インフラシェアリングを活用し、効率的に整備することが必要

① 屋内対策の整備

- 屋外の人口カバーだけでなく、**屋内のSub6等整備に対する評価指標**の導入



② 条件不利地域等の整備

- 電力や光ファイバ引込、基地局運用コストがボトルネック

携帯電話等エリア整備事業

補助対象	初期整備費 ⇒初期整備費 + 基地局運用費
補助率	1社整備 1/2 複数社整備 2/3 ⇒ 上乘せ

③ 鉄塔の統合

- 固定費の低減、環境負荷の軽減等のため、**既設鉄塔の利用を促進**



経済支援の拡充

予算措置の検討

現行の補助金制度に加えて、

5Gインフラ整備費用を基金化することで、期間を定め集中的に整備を行うことも有効

項目	年度予算規模	備考
電波利用料	750億円前後	電波法上に用途として施策を規定
特定基地局開設料	136億円	1.7G(東名阪以外) / 2.3G / 700Mの割当て
条件付き周波数オークション落札額	－ (未実施)	用途は検討中



**5Gインフラ整備の担い手として、
世界最先端の通信ネットワークの実現を目指して
貢献していきます**

JTOWER